



Making Every Dive Your Best.

ダイビングを愛する人をサポートし、理想のダイビングを実現するために、
私たちは国内自社工場での生産にこだわり続けています。

ダイビングスーツ着用によるストレスを感じることなく、ダイビングそのものの素晴らしさを体感いただきたい。だから、私たちは、国内の自社工場で、素材を熟知した熟練の技術者が、塗り、貼り、縫製から仕上げの細部にいたるまでのひとつひとつの工程に神経を行き渡らせながら、丁寧につくりあげていくことを大切にしています。

それらは、「本物の品質」を生み出すために妥協しないワールドダイブのクラフツマンシップ、スーツづくりへの真摯な姿勢です。



信頼と品質にこだわるからこそ生産は国内自社工場で

ワールドダイブは、ダイビングを愛する人たちに常に高品質の製品をお届けするため、目の行き届く最新の環境下できちんと製造したいと考え、国内自社工場で生産しています。

スーツそれぞれのデザインに、素材特性と糸の相性までを考慮して縫製。さらにワールドダイブのすべてのスーツは、独自の厳しい基準による検査を行ない、高い品質を維持しています。

ダイバーの笑顔のために最上の1着をお届けする。すべては信頼の「ワールドダイブ」ブランドを送り出す、私たちのこだわりです。

快適なダイビングライフのためにより高い完成度を追求

どんなに経験や技量があっても、環境に適した完成度の高いスーツがなければ、ダイビングライフをエンジョイすることはできません。大切なのは、国内外のリゾートから真冬の流氷ダイビングまで、あらゆるシーンでダイバーを包み込むようにカラダを保護／体温を維持し、動きやすく耐久性にも優れていること。

そのために、ダイバーの皆さんにストレスを感じることなく安心してダイビングを楽しんでいただけるよう、ワールドダイブでは、デザイン・設計から縫製技術、素材、設備と機能性の充実を追求し続けています。

ダイバーひとりひとりのダイビングスタイルにマッチしたベストの1着を

近くの海をホームゲレンデにするダイバー、極寒の海に挑む冒険ダイバー、南の島で楽しむリゾートダイバー、潜水を職業とするプロダイバーなど、そのダイビングスタイルは年齢性別を超えて、ダイバーの数だけ存在します。だからこそ、どんなダイバーにも快適なダイビング環境をお届けできるよう、それぞれのスタイル、ステージなどに合わせたベストの1着を選べる豊富なバリエーションをラインアップ。フルオーダーメイドはもちろん、ワールドダイブは既製サイズでも、ウエットスーツ51サイズ、ドライスーツ43サイズ、シェルドライスーツ43サイズをご用意しており、オーダーメイドに限りなく近い「ジャスト・サイズ」に仕上げます。

海を愛するすべての方のベストパートナーであり続けるために

ダイバーが臆することなく、どんな海へも入っていける品質へ。ワールドダイブの製品は、その名のとおり、世界の海で愛用されています。設計、素材、設備、そして技術のすべてに、現在得られる最上のクオリティを凝縮。また、製品保証をはじめ、より長くご使用いただくためのアフターサービスなど、充実したサポート体制も整えています。ダイバーがより美しい海を目指すように、私たちもまた、より高度な機能性と快適さを追求し続けていきます。



技術へのこだわり

つねに改良を重ね、日々進化を続けるワールドダイブのスーツづくり

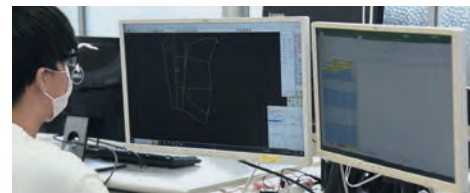
水中で動きやすく、陸上でも苦にならない、しかも着やすく脱ぎやすい、カラダにしっかりとフィットするスーツを実現するため、ワールドダイブはつねに改良を重ね、生地や装備、生産工程のひとつひとつに至るまで、日々進化させ続けています。

01:企画・デザイン

デザインは、機能性を追求し、そこに機能美としてのデザイン性を高めています。「着やすく着心地がいい」「動きやすい」「ラインが美しく見える」など、まずはダイバーが求めている機能を第一に考えデザインします。

02:設計・製図

平面デザイン画を、人間のカラダに移し替えて立体に設計します。目指しているのは、より人体に近いスーツ。関節や筋肉だけでなく、発汗などの生理現象まで考えて設計にあたります。



03:CAD

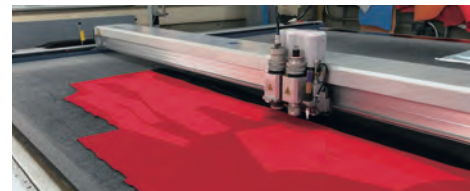
コンピュータが設計・製図部門をサポート。オリジナルの型紙が1着ごとに作成され、大きなプリンタで出力されます。出力された型紙はオーダー用紙とつけ合わされ、最終チェックされます。

04:型入れ

型紙を生地に正確に写しとり、型紙とまったく同じ生地のパネルを作ります。デジタルが出力した緻密なラインを、熟練した職人ワザでミリ単位の正確さで写しとっていきます。

05:裁断

型入れたラインに沿って、正確かつスムーズに生地をカット。どんな生地でも、流れるようなきれいなラインで、垂直断面にカットしてパネルにします。現在は効率化のために手作業だけでなく、CAM(自動裁断機)を使用して機械化することで品質の均一化と効率化の両立をしています。



06:塗り

生地の断面に、迅速かつ確実に、適量の接着剤をムラなく塗ります。用途に合わせて複数の接着剤を使用。その日の温度・湿度と相談しながら乾燥時間を決めるのも、職人ワザのひとつです。

07:貼り

隣り合うパネルをしっかりと貼り付けて、立体的な形に。腕や脚部の丸みを帯びた部位や、生地の厚さや種類が異なるパネルの貼り合わせには熟練の技術が必要となります。



08:縫製

生地を貫通しないように表面から1/3の深さで縫製する「すくい縫い」など、7種類の特種ミシンを自在に使い分け、「縫い際の魔術師」といわれる熟練のワザでスーツを仕上げっていきます。



09:副資材

ファスナーなど防水機能が要求されるパネルでは、接着力の強い接着剤を用い、さらに塗り／乾燥の工程を何度も繰り返して強度を高めていきます。

10:検査

すべての工程でたくさんの厳しい目を通して徹底的にチェック。ドライスーツは1着1着をプールに沈めて防水テスト(水密検査)します。厳しい基準をクリアしたものが梱包に移されます。



11:最終チェック・梱包・発送

ここまでの各工程で厳重な品質チェックをクリアしてきたスーツを、梱包前に「これでほか」ともう一度確認。仕様と塗り・貼り、縫製品質など最終チェックをクリアしたものが梱包・発送されます。

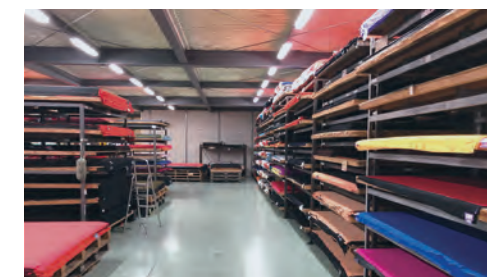
素材へのこだわり



ダイビングスーツにふさわしい 最適性能を備えたマテリアルを用意

表生地と裏生地がクロロプレンゴムを真ん中に挟んでスーツ素材になります。ウエットスーツ用に21種類、ドライスーツ/シェルドライスーツ用に12種類、計33種類のマテリアル*を用意。ダイビングスーツに必要な不可欠とされる「保温」と「保護」特性に加えて、伸び曲げしやすいなどの運動性能、擦れや破れ、裂けに強く、長時間使用できる強さ、さらには水キレの良さ、抗菌防臭・消臭など、たくさんの性能を備えた素材たちを、適材適所に使い分けて1着のスーツに仕上げています。

*ウエットスーツ DCNWは、[CNF]をクロロプレンに配合した新素材を採用。
*シェルドライスーツは、アルティメイトクロス(シェル)素材を採用。



一定期間、静かに寝かせて安定させてから生地を使用

クロロプレンゴムは加工されてからも少しずつ縮んでいく特性があるため、まずはゴムの縮みが落ち着くまで寝かせ、次にクロロプレンゴムの表面/裏面にジャージ素材などを貼り付ける加工をしてからさらに寝かせます。ゴムの縮みとジャージ素材の伸縮が互いに収まり、生地が安定するのを待って、ようやく資材倉庫に搬入されます。これによりスーツを作った際の縮みやヘタリが少なくなり、カラダにぴったりとフィットしたスーツに仕上がるわけです。

ウエットスーツ、ドライスーツ、シェルドライスーツ スーツ特性に合わせ最適の素材を適材適所でレイアウト

スーツに最も必要とされるのは、カラダの保護と保温。海の中でダイバーを暖かく保ち、岩やサンゴなどからガードすることです。そこに、運動性、耐久性、着脱性など安全快適なダイビングを楽しめるための機能性も要求されます。これらを高いレベルで満足させるために、ワールドダイブでは、それぞれのスーツ特性に合わせて、様々な性能を備えた多種多様な素材を適材適所で使用しています。